

福島県特別支援教育振興会

いわき支部

会報

第 34 号

発 行 者
福島県特別支援教育振興会
いわき支部長 大 谷 明

事 務 局
福島県立平支援学校
いわき市平上平窪羽黒40-45
〒970 TEL(0246)24-2501
-8001 FAX(0246)23-5135
ホームページ <http://sep-iwaki.com/>

ごあいさつ

福島県特別支援教育振興会 いわき支部長 大 谷 明

日ごろより学校教育と共に当振興会いわき支部へのご支援をいただきありがとうございます。今年もまた猛暑や各種の感染症等の広がり、マスクの着脱や熱中症対策等に追われる日々であると思います。そのような状況のなか、振興会では福島県特別支援学校体育連盟の補助事業や市内支援学校4校への助成事業等を進めてきました。また、パラリンピックでも、本県の選手の活躍も大きな感動をもたらしてくれました。うれしいものです。

現在、振興会いわき支部としては、各学校の子どもたちへの熱い思いと希望をもって支部活動や事業の実践の深まり等をすすめていきたいと思ひ願ひながら、あれこれ方策を検討しております。会員の皆様には日々の生活等にご注意いただきながら、振興会諸活動にご協力等を賜りたく考えております。どうか、今後ともよろしくお願ひいたします。晩秋、初冬、気候変動の厳しい日々となります。良い年であることを祈念申し上げます。

わが校の宝物

各学校の児童・生徒の作品を紹介します。

いわき支援学校



高等部の窯業班、手工芸班、レザー班、基礎作業班、リサイクル班の作業製品です。風と雲のまつりで販売活動を行いました。
高等部作業製品▼

▲ 中学部作業製品

中学部の紙工班、クラフト班、家庭班の作業製品です。風と雲のまつりで販売活動を行いました。



平支援学校

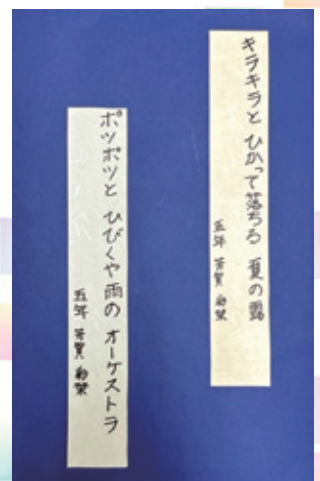


修学旅行に行こう
「きりん」

小学部 6年3組、6年訪問学級
石田烈陵、海野きいろ、1・H



聴覚支援学校平校



「俳句」

小学部 5年 芳賀彩葉

いわき支援学校くぼた校



「最高の仲間と咲き誇れ」美術科での共同制作

各 学 校 の 紹 介

いわき支援学校

本校は、いわき市平上神谷地区に位置し、知的障がいのある児童生徒が学ぶ通学制の特別支援学校です。小学部117名、中学部66名、高等部91名の児童生徒が在籍し、本年度は、創立42年目を迎えます。「自ら考え学ぶ人」「心ゆたかな人」「じょうぶな人」の教育目標のもと、児童生徒一人一人の能力・特性に応じ、自立と社会参加を目指して、授業づくりや学校行事、体験活動の充実に取り組んでいます。また、分校のくぼた校とも連携を図りながら、教育活動を進めています。

小・中学部は10月19日、高等部は10月26日に「全力！元気！笑顔！最高の風雲2024」というテーマを掲げ、「風と雲のまつり」を行いました。

小学部は、学年ごとにステージ発表を行い、1・2年生は大きな舞台や来場者にドキドキ緊張しながらも、教師と一緒に発表を頑張りました。中学年は、友達と気持ちを合わせたり、自分なりの思いをもった表現をしたりすることができ、高学年は、これまでの学習の成果をステージで堂々と発表することができました。

中学部は、紙工班、クラフト班、家庭班の代表者が作業学習や作業製品販売についての説明を行い、販売活動では、各班の生徒たちが品出しや会計、袋詰めなどの仕事を分担して取り組むことができました。多くの保護者の皆様にご来場いただき、販売活動が大変にぎわい、有意義な時間となりました。

高等部は、「風と雲のまつり実行委員会」メンバーによるオープニング、「書道パフォーマンス」で一気に会場が盛り上がり、1学年の「鮮度抜群☆いわきニュース」をはじめ、各学年によるステージ発表、さらにフラダンス部による華やかなダンスが次々に披露され、会場を大いに沸かせました。また、「作業学習販売・実演」では、それぞれの班の活動紹介だけでなく、サービスワーク班が日頃の学習の成果を実演したり、ハンドワーク班各部門で、丁寧に作り上げた作業製品の販売会等を行ったりし、高等部らしい、活気あふれる「風と雲のまつり」となりました。

本校ではキャリア教育と進路指導の充実に努めています。中学部や高等部では、地域の様々な企業や福祉事業所の御協力を得ながら、校外での産業現場等における実習を行い、将来の生活に向け、仕事への考え方や取り組み方、そして地域の方々との共働生活について学んでいます。

今年度も、本会からの助成金は、各学部の教材・教具の充実や芸術鑑賞教室に活用させていただいております。いわき支部の皆様、本当にありがとうございます。



いわき支援学校くぼた校

いわき支援学校くぼた校（以下、「くぼた校」という）は、東北及び県内で初めて高等学校内（勿来高等学校内）に設置された高等部のみの特別支援学校（知的障がい）として開校し、今年度で10年目となりました。福島県が目指す「地域で共に学び共に生きる教育」の推進に向けて、勿来高等学校や地域の皆様からの御協力や御支援をいただきながら、日々の教育活動を行っています。

くぼた校では、10月12日（土）に福島市のとうほう・みんなのスタジアム（あづま総合運動公園）を会場として開催となった「第23回福島県特別支援学校スポーツ大会」に学校行事として参加しました。大会に向けて、1学期末から本格的に練習を始め、各種目に分かれて継続して練習を行いました。また、今年度もクレハ株式会社のグラウンドをお借りしての練習会を実施するなど、大会に向けて練習を重ねてきました。大会当日は緊張している生徒もみられる中、家族や友達の声援を力に変えて最後まで走ることができました。これまでの練習の成果を発揮し、くぼた校は陸上競技において男子100mなど3種目での優勝、フライングディスク競技の個人アキュラシー5m競技において1名の優勝をはじめとして、両競技を合わせて計22種目での入賞を果たしました。また、多くの生徒が自己記録を更新、またはそれに近い記録を残すことができました。

今年度は「第23回福島県特別支援学校スポーツ大会」に係る大型貸切バスの代金として、本会からの助成金を充てさせていただきました。生徒たちは、この大会のためにこれまで練習を重ねて臨んでいたこともあり、良い思い出となったようです。いわき支部の皆様御協力や御支援に改めて感謝申し上げます。今後とも様々な場面で御支援をいただければと思います。



平支援学校

本校は、肢体不自由のある児童生徒が通う特別支援学校です。現在、小学部 23 名、中学部 27 名、高等部 28 名、計 78 名が在籍し、保護者の送迎や公共交通機関・スクールバス等を利用して自宅から通学、寄宿舎を利用して通学、隣接する福島整肢療護園から通学する児童生徒がいます。また、国立病院機構いわき病院内の「病院訪問学級」や家庭で授業を行う「家庭訪問学級」など、各々の状況に応じた形態での学習を通して、個々の能力や特性に応じながら卒業後の自立と社会参加に向け、日々学習活動に励んでいます。また、校内において 6 名の看護師が配置され、経管栄養や痰の吸引等の、医療的なケアを必要とする児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、安全の確保を徹底しています。

小学部では、修学旅行を実施し 5、6 年生が参加しました。初めて特急ひたち号を利用し、日立かみね公園を目的地としました。今回の修学旅行に向けて、事前学習を重ねて子どもたちは交流を深めてきたこともあり、当日は全員が参加してみんなで一緒に動物と触れ合ったり、好きなお土産を購入したりして、楽しく充実した時間を過ごすことができました。中学部では、ふたば支援学校（旧富岡支援学校）との交流を実施しました。生徒たちは共にレクリエーション活動を行ったり、一緒に給食を食べたりしました。また、9 月に 3 学年は東京方面へ 2 泊 3 日の修学旅行、10 月には 2 学年がいわき海浜自然の家へ宿泊学習に行くなど、実りの多い体験をすることができました。高等部では、ふたば未来学園高等学校、いわき支援学校、いわき総合高等学校との交流を実施しました。修学旅行は関西方面で実施し、U S J や道頓堀に行き、楽しい思い出を作ることができました。また、作業技能大会や特別支援学校スポーツ大会などへの参加を通して生徒が直接体験する機会を作りました。

本校では本会からの助成金を災害時備蓄品、高等部特別支援学校スポーツ大会参加のための交通費、卒業式装飾の花代に使わせていただきました。安心・安全、充実した学習活動のために有意義に使わせていただいております。



聴覚支援学校平校

聴覚支援学校平校は、いわき市平馬目地区にあり、聴覚障がいのある幼児児童が通学しています。平校は今年で創立 118 年目を迎えました。設置学部は幼稚部と小学部で、現在、幼稚部 4 名、小学部 5 名の計 9 名が「学力・言語力、そして生きる力を育む」を目標として、様々な教育活動に取り組んでおります。また、校内には地域支援センター「みみらんど・いわき」があり、0 歳からの教育相談、地域の学校等への出かける支援、学習会なども行っています。

特別支援教育振興会いわき支部の助成金を活用した学校行事「平ふくろう祭」について紹介します。

今年度は、10 月 26 日（土）に、「スマイル！ワクワク！元気！すてきな花をさかせよう！」のテーマのもと、保護者やいわき手話サークル会員の方々、後援会会員の方々をお招きし、各学部の発表や作品展示などを行いました。

幼稚部は、劇「プレーメンの音楽隊」の発表でした。4 人の子どもたちは、楽しいやりとりや感情を込めた演技を披露することができました。また、劇の中でキーボードやハンドベルの演奏にも挑戦し、その成果を見ていただくことができました。小学部は、自分の夢や目標に向かって学習に取り組んできた内容を、プレゼン発表や劇、ダンスなどの形で発表しました。ふくろう祭に向けてわかりやすい発表方法の工夫をしたり、劇の練習に取り組んだりした成果を披露することができました。

子どもたちの生き生きとした発表に、会場からたくさんの拍手が送られました。

会員の皆様には平校の教育活動の充実のために温かい御支援をいただき、感謝申し上げます。今後とも、御支援、御協力の程、よろしくお願い致します。



温かいご支援をいただき、ありがとうございました。

令和6年度 一般会計歳入歳出予算書

歳入総額 1,320,924円
歳出総額 1,320,924円
差引残高 0円

1 歳入の部 1,320,924円

Table with 7 columns: 款, 項, 目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会費収入, 積立金取崩, 諸収入, 繰越金取入, and a total row.

2 歳出の部 1,320,924円

Table with 7 columns: 款, 項, 目, 本年度予算額, 前年度予算額, 比較増減, 摘要. Rows include 会議費, 負担金, 補助及び交付金, 事務費, 積立金, 予備費, and a total row.

- 3 差引残高 0円
4 支部長の承認を得て科目間の流用を認める。
5 特別会計残高 100,000円

令和6年度 福島県特別支援教育振興会 いわき支部役員名簿

【顧問】 長谷川浩一 青木 稔
渡辺 敬夫 小野 哲司

【支部長】 大谷 明

【副支部長】
塩 俊昭 (いわき支援PTA会長)
富岡幸夕里 (平支援PTA会長)
芳賀 裕子 (聴覚支援平PTA会長)

【監事】
新妻 由美 (いわき支援PTA副会長)
清水ひろみ (平支援PTA副会長)

【理事】
平方部 小野寺典子
小川・川前方部 鈴木 茂信
一般社団法人いわき市医師会
福島県立いわき支援学校 赤坂 剛
福島県立いわき支援学校くぼた校
蓬田真由美・伊深 智広 (PTA会長)
福島県立聴覚支援学校平校 大和田 浩
福島県立平支援学校 渡部 孝男

【事務局長】
渡部 孝男 (平支援学校長)

【事務局】
加藤 賢一 (平支援学校教頭)
松浦真由美 (平支援学校教頭)
菊池美喜子 (平支援学校職員)
高木 寛子 (平支援学校職員)
橋本 真心 (平支援学校職員)



報告

令和6年度福島県特別支援教育振興会総会の開催状況

日時：令和6年7月3日(水) 11:00～12:00

場所：福島県立聴覚支援学校 寄宿舎活動室 (郡山市大槻町字西ノ宮西5-2)

報告事項

- 1 令和5年度事業報告……報告され承認されました。
2 令和5年度決算報告並びに会計監査報告……報告され、異議なく承認されました。
3 令和6年度事業計画(案)の提案
……7月31日の第12回特別支援学校作業技能大会がビッグパレットで開催され本支部も後援しました。
……8月1日～4日 第45回福島県障がい児(者)心理教育キャンプの後援会が行われ、10月12日には、支援学校スポーツ大会、さらに11月には、支援学校連合会研究大会が開催、そして運営補助、そして11月14日～15日に令和6年度聾教育研究福島大会開催への後援等が行われました。
以上にかかる費用は、本部運営会計との予算が計上され、いずれも承認されました。
なお、令和6年度は例年の振興・啓発事業が行われること、令和7年度振興・啓発事業が終了することが周知されることが示されるとともに後援事業、助成事業が終了されることも明記されました。
4 総会には、当会の小檜山宗浩会長、他、副会長、6地区理事(支部長、評議員の計18名)が出席しました。